

福島第一原子力発電所現地確認報告書

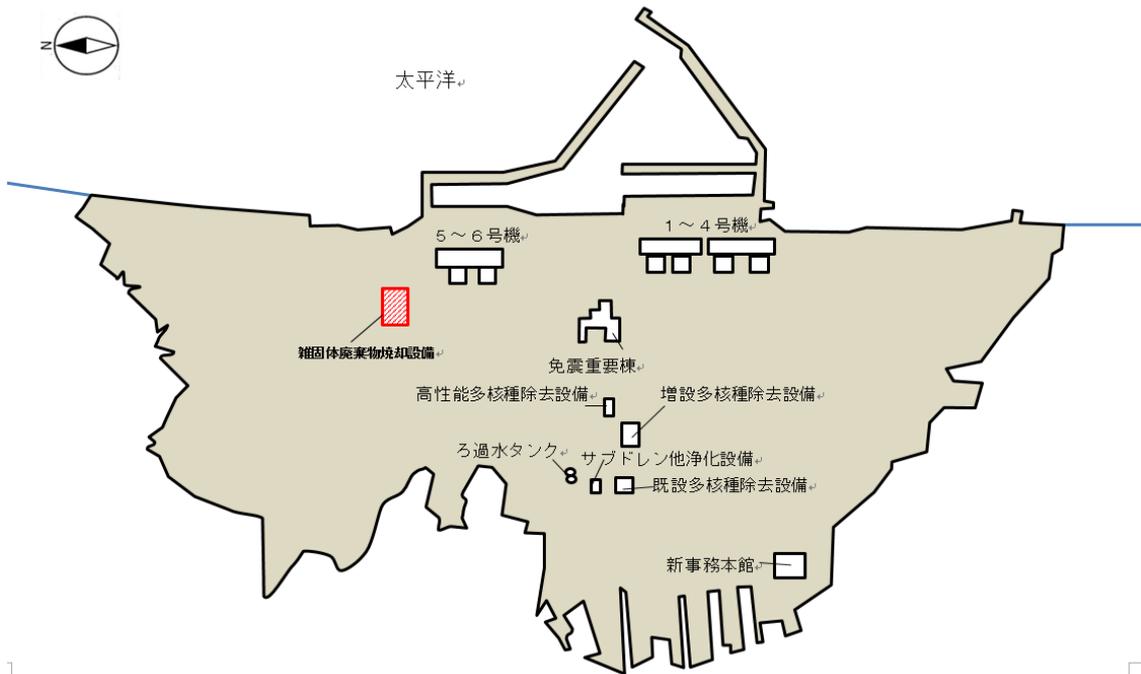
- 1 確認日
令和6年10月3日（木）
- 2 確認箇所
雑固体廃棄物焼却設備（図1）
- 3 確認項目
雑固体廃棄物焼却設備運用状況等の確認

4 確認結果の概要

雑固体廃棄物焼却設備については、本年5月10日に焼却炉(A系)運転中に炉内圧力が高くなったことにより警報が発生し自動停止した。その後、これまでに実施された原因調査に基づき、設備運用について必要な対応が整い焼却が再開されたことから、不具合への対応状況を確認するとともに同設備の運用及び管理状況を確認した。（前回確認：令和6年6月10日）

<廃棄物焼却設備の不具合対応・運用管理状況>

- ・当該設備の2つの焼却炉(A系・B系)とも運転パラメータの瞬時値を適切に取得・保存できるデータロガーが焼却炉本体の制御盤内に新たに設置されていた。（写真1）
- ・これまでの設備全体の詳細な点検及び定期検査時の確認結果において警報発報に至る明確な不具合が特定できないことから、当該設備の2つの焼却炉(A系・B系)に投入する雑固体廃棄物の組成等（難燃物の混入割合や廃油類の混焼有無）をより細分化し、様々なパターン分けで実施した運転実績から得られる各運転パラメータの詳細データを集約・分析することにより、今後の適切な施設運用に資するとのこと。（写真2）
- ・また、当該設備の2つの焼却炉(A系・B系)の現況及び運用管理状況については、同設備内での計量・線量管理、廃棄物投入～焼却、排ガス処理及び飛灰集積に係る各工程における管理状況も適切であり、処理物の飛散等もなく正常に運転されていた。（写真3、4）



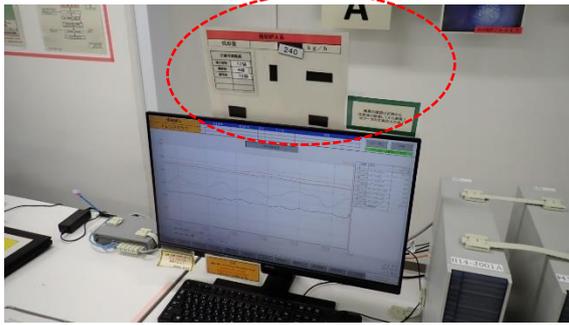
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



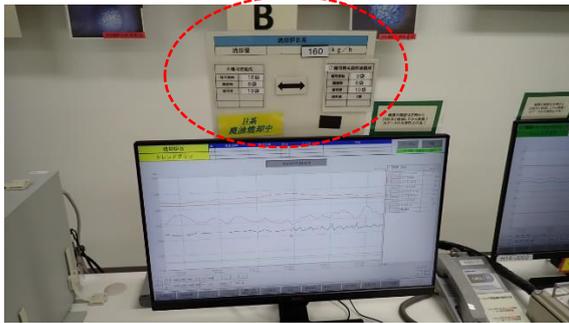
(写真1-1)
焼却炉(A系)の制御盤内
(運転パラメータ取得用の
データロガーを新たに設置)



(写真1-2)
焼却炉(B系)の制御盤内
(運転パラメータ取得用の
データロガーを新たに設置)



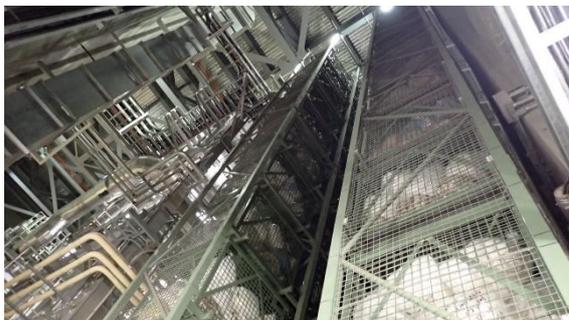
(写真 2 - 1)
焼却炉 (A系) の運転管理状況
(運転パラメータのトレンド監視
及び焼却量・可燃組成)



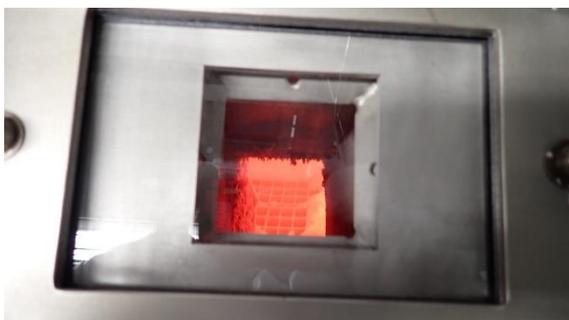
(写真 2 - 2)
焼却炉 (B系) の運転管理状況
(運転パラメータのトレンド監視
及び焼却量・可燃組成
B系では廃油も処理中)



(写真 3)
雑固体廃棄物焼却設備の制御コントロール室内状況



(写真 4 - 1)
焼却炉 (B系) の雑固体廃棄物
(可燃物) の投入エレベータの
状況



(写真 4 - 2)
燃焼後の飛灰管理の状況
(焼却炉内)



(写真4-3)
灰ドラムの保管状況
(灰ドラムの一次保管スペースが
設けられている)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータに異常な値は確認されなかった。